

新技術・新製品開発促進助成対象事業として採択

「見守りシステム」のスマート化事業で IoT コントローラの小型化とコストダウンを実現

株式会社ジェイエスピー(神奈川県横浜市、代表取締役：稲田彰典、以下「ジェイエスピー」)は、横浜市が実施する新技術・新製品開発促進助成(以下、SBIR)について、『IoTによる「見守りシステム」のスマート化』事業が採択されましたのでお知らせいたします。

これによりジェイエスピーでは2017年3月へ向けてIoTコントローラの小型化とコストダウンの実現を目指します。

1. 事業概要

本事業は弊社製品「動物見守りシステム monipet」の技術基盤を活かして、各種センサの接続が可能で、かつアプリケーションソフトウェアの動作基盤を搭載したIoTコントローラの製作を目的としており、医療、介護をはじめとした見守りを必要とする分野におけるIoT基本プラットフォームとしての役割を期待しています。

2. 開発日程

販売開始：2017年3月予定

量産開始：2017年7月予定

3. SBIRへの応募背景

これまでジェイエスピーは動物病院向けに「動物見守りシステム monipet」を販売しており、システム内ではIoTコントローラに相当する機器を既に利用しています。この機器をより汎用的な部材で再構成したり、広範囲をサポートする機能を付加したりすることで、昨今IoT分野で社会的なニーズが高まっている小型で安価なIoTコントローラを実現できるのではないかと考え応募に至りました。

今回のチャレンジが広い分野でのIoT普及の一助になることができると考えております。

4. 今後の展開

ジェイエスピーは動物見守りシステムの先駆者として、動物病院を中心に見守りシステムの市場開拓に積極的に取り組んでまいりました。また、並行してIoTやM2Mを実現する基盤技術のさまざま知見をシステム開発事業から蓄積しております。見守りシステムとIoTやM2Mの基盤技術の両者を組み合わせ発展的に統合することで、動物病院での見守りシステムの高度化やHEMS、農業での活用を想定しています。

【想定する利用状況】

状況	センサ	取得データ
動物病院	レーダー カメラ マイク	活動状況 画像 音声
HEMS	電力量計 温度・湿度	電力消費量 室内環境
農場	温度・湿度 土壌 カメラ	土壌環境 画像

ジェイエスピーでは、年内にも動物病院での見守りシステムの高度化を予定しており、来年は HEMS 関連製品の開発を実施致します。

今後もジェイエスピーは「見守り」をキーワードに利用者の方々に安心をお届けできるシステムの開発に努め多様化する社会への貢献を進めてまいります。

■横浜市経済局記者発表

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/happyou/h28/20161020134842.html>

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/sbir/20161013144602.html>

■動物見守りシステム monipet

<http://www.moni-pet.com/>

[注]

- ・ monipet および monipet ロゴは株式会社ジェイエスピーの登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社ジェイエスピー

担当者名：倉橋、山本

住所：横浜市西区高島 2-6-32 横浜東口ウィスポートビル 11F

TEL：045-444-3474

URL：<http://www.jspnet.co.jp/>